



藤中だより

保護者・地域に信頼される学校を目指して

〈目指す生徒像〉

- よく考え工夫して学ぶ生徒(知)
- 人と自分を大切にする生徒(徳)
- 心と体を粘り強く鍛える生徒(体)

令和6年12月24日 校長 竹田 聡

〈年末を迎えて〉

日頃より、本校の教育活動にご理解ご協力いただきありがとうございます。また、学校からのアンケートにもご協力いただき、感謝申し上げます。いただいたご意見を精査して、学校経営に役立ててまいります。2学期は予定された学校行事、部活動の大会を終えることができましたが、12月に入り急激に冷え込み、2学期末にインフルエンザA型が流行しています。感染状況によって、冬季休業中の部活動も急な変更も予想されます。変更があった際には、ご協力をお願いします。

3学期が円滑にスタートできるように、健康と安全への配慮をよろしく申し上げます。例年、冬休みは、金銭やネットのトラブルが増加する傾向にありますので、ご家庭でも注意してください。

〈2学期終業式 学年代表の話〉

1年生代表

2学期は、学校生活や行事など様々なことを充実させるために、力をつけていかないとけない大切な学期でした。その中で、私は2学期に頑張ったことが3つあります。

1つ目は「勉強」です。1学期の期末テストでは、思ったような点数が取れなかった教科がありました。そこで、2学期は全ての教科で納得のいく点数を取れるように、家での復習をしっかりと行い、授業中には自分がわかるように整理したり、わからないところは先生に聞くようにしました。また、計画的に目標を立て毎日コツコツ学習したところ、2学期の期末テストでは納得のいく点数をとることができました。私達はこれから2年生になるにつれて、学習内容がどんどん難しくなっていきます。2年生になってから困らないためにも、今からわからないところはそのままにせず、勉強をする習慣を身につけられるように頑張りたいと思います。

2つ目は「部活動」です。私はソフトボール部と外部の活動を掛け持ちしています。ソフトボール部は新人戦で県大会まで進むことができましたが、県大会では良い結果が残せませんでした。日頃から視野を広くして行動し、技術面でも一球一球を大切に、次の学校総合体育大会では悔いの残らない結果が残せるように、日々細かいところまで全力で取り組みたいと思います。

3つ目は「生活」についてです。私は、はじめて後期学級委員という責任重大な役職につきました。約2ヶ月前に校外学習に向けたキャンペーンを行い、最初の頃は良い結果が出せなかったですが、キャンペーンの最後にはみんなが目標を達成できるほどクラスや学年が成長しました。これからは積極的に呼びかけを行い、2分前着席や日頃の挨拶など凡事徹底し、視野を広く周りを見られるように頑張りたいです。

2年生代表

僕は2学期を終えて、1学期とは大きく変わって、成長したことが2つあります。

1つ目は、学級委員としての取組です。いつも近くで見ていた学級委員の仕事を自分でやってみると、人をまとめて

いく難しさや、学級委員が普段何を意識して活動していたかが少しずつ分かってきました。はじめのうちは慣れない仕事に苦戦し、うまくいかないこともありましたが、同じ学級委員の友達や、先生にアドバイスをもらって学級委員として、クラスの仲間をまとめていくことができるようになってきました。僕は、授業前に3分前着席の声かけをすることや、1日の目標を分かりやすく、具体的に書くことの2つを意識しています。これからは、自分の良さを活かし、学年をより良くするために活動していきたいです。また、修学旅行実行委員としても活動しています。これからある修学旅行に向けて、学年の意見を取り入れながら、最後に全員が楽しかったと思えるような修学旅行を目指したいと思っています。

2つ目は、勉強への取り組みです。僕は1学期の反省を活かして、授業でやった範囲のワークをその日のうちにやったり、テスト前にはワークをたくさんやることを意識して取り組みました。その結果、1学期のときよりも多くの問題を解くことができました。学年末のテストでは、自分が立てた目標を達成できるように、勉強時間を増やしていきたいです。

これから始まる3学期は、3年生の0学期だといわれます。学習面では、受験生としての良いスタートが切れるように取り組み、行動面では、最上級生としてふさわしい行動がとれるように意識して、充実した3学期にしていきたいです。

3年生代表

今日、僕にとって中学での3回目の2学期が終わります。今思えばあつという間の2学期でした。皆さんはどうでしたか？一人一人が掲げた目標に向けて努力するすばらしい学期にすることはできましたか？これからそんな2学期を3つの観点から振り返っていきます。

まずは学級委員としての活動について。僕は3年の前期から学級委員に所属しています。しかし1学期では部活、勉強、委員会の両立からの疲れや、クラスをまとめることの困難さから、一筋縄では行かず、僕自身があまり学級委員に向いていないのではないかと思う時期がありました。でもこのまま諦めたくない、少しでもいいからクラスのために

きることをしたいと思い、2学期から心機一転、新たな行動を始めました。まずは日々の活動からということで授業前や給食の時間の呼びかけを行ったり、休み時間のタブレットの呼びかけなどを行いました。その結果、班長やクラスの他の委員会も呼びかけに協力してくれるようになりました。

もしも周りが何も動いていなければ自分も動かなくても良いのでしょうか？きっと、そうではないでしょう。一人ひとりが考えて行動を変えていくことでクラス全体として前進することができる。ということを学びました。そして「自立したクラス」へ一歩近づけることができるでしょう。そのためにクラスの最前線に立って、最後まで引っ張ることができるように努力していきたいと思っています。

次に合唱祭について。僕たち3年生にとっては最後の合唱祭に向けて、実行委員を中心とし練習に励みました。はじめの頃はあまりまとまりがなかったのですが、徐々に団結力を高め、クラスで団結して本番を迎えることができました。僕のクラスは、優秀賞や最優秀賞はとることができませんでした。今までの2年間を踏まえた3年3組らしい合唱を届けることができました。

本番ではどのクラスも全力で歌っていましたね。静かでシーンとしていたり、あるときは壮大でどンドン外側へ広がっていく波のようであったり、あるときは力強くなにか心がざわざわしたり、それぞれ一人ひとり様々な歌い方で歌っているのがよく伝わって来ました。そんな合唱祭では一人ひとりが得たもの、感じたものがあつたでしょう。それを大切にこれから生活していきましょう。

最後に学習面について。9月にいよいよ、たくさんの思い出があふれる吹奏楽部を引退し、部活と勉強の両立から、勉強中心の生活へと切り替わりました。まだ偏差値も内申も満足できない状態だったため、中間、期末テストの約3週間前からテスト本番までは学校のテスト対策に、それ以外の時間を入試対策へ力を入れました。テスト対策ではワークを2、3回ほど繰り返して基礎力、応用力を身につけ、まとめノートを作りいろいろな情報を整理するなど工夫して勉強に励みました。しかし思うように進まず、苦しいときもありました。それでも自分のやり方を信じ努力したことで、期末テストではこれまでで最も良い結果を残すことができました。ずっと目指していた目標を超えることができ、とても嬉しかったです。

この2学期では、苦しいことや困難なことがたくさんあった学期でした。でも努力し、それらを乗り越えた先には何かしらの発見が待っていて、その発見を積み重ねることで成長してきたのだと思います。こうして成長することができたのは僕に関わった多くの人々のおかげです。

いよいよ私立入試までは1ヶ月、公立入試までは2ヶ月となりました。小さな頃からの夢を叶えるために。集大成である卒業式を最高の状態で迎えるために。支えてくれたすべての人へ良い報告をし、感謝を伝えるために。この冬休みで入試に向けて着実に準備していこうと思います。

1、2、3年生。冬休みと3学期は各学年のまとめの学期です。つまりそれだけとても大切な時期です。新たな学年になる準備をし、悔いのないこれからを生きるためにこの冬休みを大切にしていきたいです。

<校長の話(概要)>

2学期の始業式では、切り替えを早くすること、健康で安全な生活を心がけること、見通しをもつことの3つを期待すると話しました。しっかりとできたでしょうか。学校全体の活動から2学期を振り返ると、文化祭、合唱祭など、学校行事は上級生がしっかりと手本を示してくれたと思います。部活動では運動部の新入体育大会、吹奏楽部のアンサンブルコンテスト、駅伝大会があり、それぞれに成果をあげていました。4、5年前のコロナ禍を思い起こすと、行事や校外の大会等ができたことに、安堵するとともに嬉しく思います。学校行事や大会ができたことへ、感謝の気持ちを大切にすると同時に、悔いを残さないために、できるときにやり切ることを心がけてください。また、2学期は、藤中の女子駅伝部が関東大会で8位、男子駅伝部が全国で7位になりました。大会前の壮行会、その応援を力に素晴らしい活躍となりました。学校全体で盛り上げる雰囲気は、藤中のよさだと思います。駅伝部に限らず、それぞれのよさを認め、応援し合える学校を続けてください。

私からは、駅伝部の活躍から、皆さんに「よい仕事」について、考えてほしいと思います。皆さんの考える「よい仕事」とは何でしょうか。まず、「仕事」とは「①しなければならないこと。働くべきこと。②収入を得るための勤め。職業。③力学で、ある物体に力が働いて、その位置が移動すること。」の3つがあります。学校生活では、学習や当番や教科の係、委員会など、生徒として「しなければならないこと」があります。そのことから「よい仕事」を考えると、私は、自分の次の仕事をする人から感謝される仕事が「よい仕事」だと考えています。駅伝では、次の人が少しでもよい条件で走れるようにして襷を渡します。普段から、次に仕事を引き取る人を考えているでしょうか。例えば、皆さんの給食当番も、配膳員さんから給食センターの方々が次の仕事をしています。「次の人」を考える心配りが、「よい仕事」との差になると思います。社会で働くようになると、自分だけで完結する仕事はほとんどありません。駅伝のように、仕事の続きをする人が必ずいます。ですから、中学校で仕事を引き継ぐ人から、感謝される体験をたくさんしてほしいと思います。そのような体験の積み重ねにより、これから社会で活躍するための、大切な基礎が培われると思います。

さて、今日は通知表が渡されます。観点別評価、5段階評定を確認し、疑問があれば担当の先生に聞き、自分で家族に説明できるようにしてください。

最後に、冬休みのテレビでは、お笑いの特番がたくさん放送されます。お笑い番組を見るとき、「自分がされたら」と考えてください。人の欠点や失敗を笑ったり、小馬鹿にしたりするような「イジリ」は、テレビの中だけで、学校ではしないでください。また、交通安全、ネットトラブル、金銭トラブルがないように、安全な生活をしてください。

それでは冬休みを心身ともに健康に過ごし、3学期が気持ちよくスタートすることを期待しています。

☆冬休み中に何かありましたら、12月25～27日、1月6、7日の8:20～16:50は、藤中学校へ、それ以外の時間帯は、鶴ヶ島市役所(049-271-1111)経由でお問い合わせください。また、不審者等の情報は、西入間警察署(049-284-0110)へ通報をお願いします。

<生徒の活躍> 令和6年度埼玉県歯・口の健康啓発標語コンクール 入選 1名